



米軍の世界通信を支えるYOKOTA通信局

アメリカは世界15カ国に通信局を置いて、地球規模の地域をカバーする「短波グローバル通信システム(スコープ・コマンド)」を展開しています。日本には横田基地を中心にして、所沢(送信)、大和田(受信)の3つで構成される「YOKOTA」が配置されています。所沢通信基地、大和田通信所は、横田基地のオ374航空団所属の施設です。



(横田基地の工事でできた土砂が、所沢住民の反対を無視、搬入が3強行。)

CVオスプレイ 銃口を下に向け飛行

3月末から4月にかけてはあまり見かけなかった銃口を下に向けたオスプレイの飛行が、5月7日に再び行なわれていました。5月11日(土)には、キャンプ富士の「フレンドシップ・フェスティバル」でCVオスプレイの展示と銃も展示しました。



第90回三多摩メーデーでアピール



グローバルホークも横田基地に配備するのか

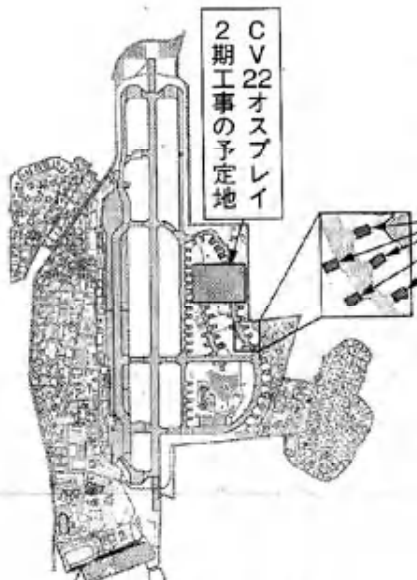
CVオスプレイの第2期工事も予定されている 怒！

横田に無人機駐機場

米空軍計画 偵察拠点化の恐れ

米空軍が横田基地（福生市など東京都摩地域5市1町）にグ

グローバルホーク用に整備を計画する駐機場



在日米軍横田基地

アムに配備している無人偵察機RQ4グローバルホークのための駐機場の建設を計画していることが11日までに、わかりました。グローバルホークは、17年5〜10月に5機がグアムから台風シーズンを避ける形で横田基地に展開して、同基地を中国大陸や朝鮮半島、南シナ海での新たな偵察活動の拠点にしようとしている可能性があります。

計画は、横田基地の第374契約中隊が4月29日に公表した、グローバルホークの係留点建設について緊急に公平な取引機会の例外・特定業者の利用の正当性の承認を求めた契約文書でわかりました。同文書では、港区内の舗装工事業者の承認を求めています。4月5日時点では不承認。最終的に同19日に契約を結んでいます。

特殊作戦機CV22オスプレイの専用施設予定地南の4カ所の駐機場に8カ所の係留点、5カ所の固定基礎点を設置。うち1カ所にはエンジン作動中の固定用システムを設置する計



横田基地に着陸する無人偵察機グローバルホーク 2017年8月29日

公平な取引機会の例外承認を緊急に求めた理由について、▽横田基地の整備・燃料補給場所に既存の格納スペースがないこと▽横田基地がグローバルホークの帰還のための一時的な格納スペースを要求していること▽グローバルホークの飛来日程が変更できないことなどをあげています。

グローバルホークは、14年5月に、初めてグアムから三沢基地（青森県三沢市）に一時期展開。17年は三沢基地の滑走路補修工事をする理由に横田基地へ展開していました。